



# 赤外線カメラ疲労限解析ソフトウェア

ロックインサーモグラフィにより、疲労限を迅速に推定できます

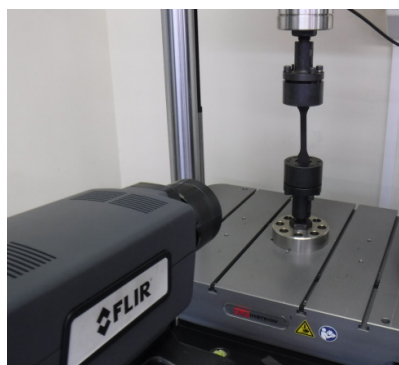
## 赤外線法の特徴

- S-N曲線を求める一般的な方法に比べ、赤外線法では疲労限を迅速に推定できます。
- ・本ソフトウェアにより、繰返し応力を与えた時の温度上昇量(疲労エネルギー)を高精度に算出できます。
- ・疲労エネルギーの急増する応力から**疲労限を推定**できます。**半日程度**で測定可能です。
- ・疲労エネルギーの集中する箇所から**疲労き裂の起点を可視化**できます。
- ・本ソフトウェアでは応力解析も同時に行えます。

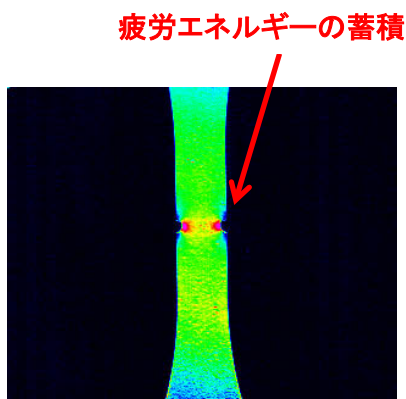


赤外線カメラ

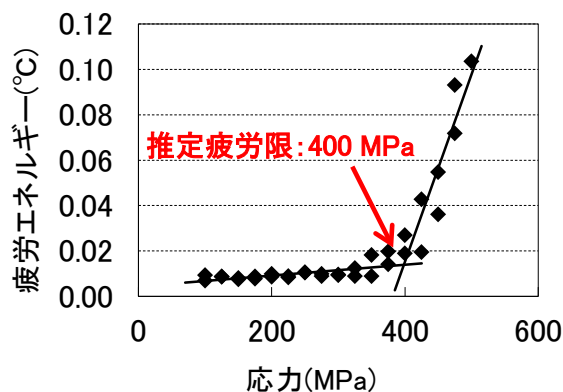
## 疲労限推定の流れ



赤外線カメラによる測定

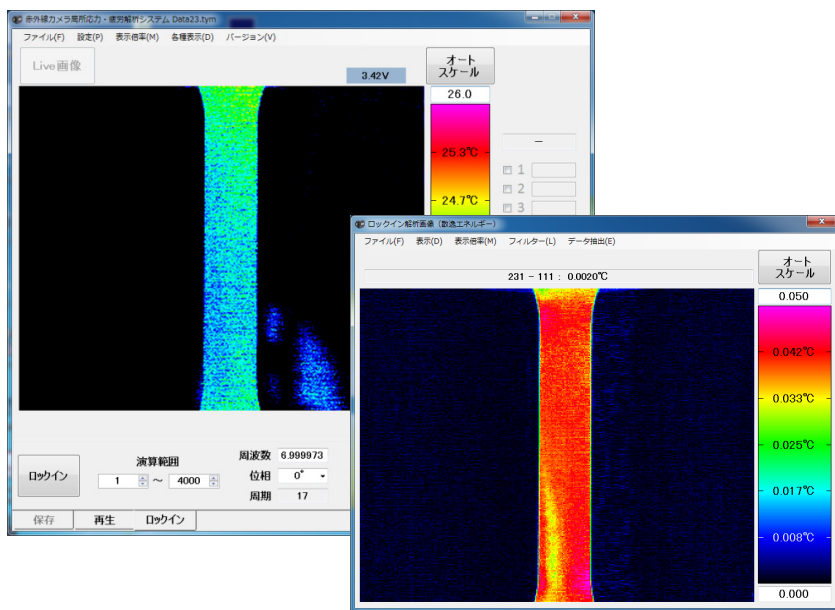


疲労エネルギーの算出



赤外線法による疲労限の推定  
(S-N曲線による疲労限: 410MPa)

## 解析ソフトウェア



### 解析機能

- 疲労エネルギー解析
- 応力解析、非破壊検査

### 対応カメラ

- FLIR X6500sc シリーズ
  - FLIR A6700sc シリーズ
- その他のカメラについてはお問合せください。

### ソフトウェア動作環境

- OS: Windows10 (64bit)
- メモリ: 8GB以上
- CPU: Intel Core i5以上を推奨
- 解像度: 1280×768以上

当社は多くの疲労試験機を保有しており、様々な疲労試験も承ります。お気軽にご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。